

私の一文字

経済懇談会 世話人
宮地 伸二

AGC
取締役 副社長執行役員 CFO CCO



「楽しく」仕事をする

会員の方が思いを込めて選んだ一字に、書家の岡西佑奈さんが命を吹き込む「私の一文字」。今回は、宮地伸二経済懇談会世話人にご登場いただきました。

岡西 今回選ばれた「楽」は、「鈴」と「糸飾り」から成り立っている漢字です。神様の前で鳴らして楽しませるという由来がありますので、楽しそうに踊っている姿をイメージして、書をしたためました。

宮地 「充実している」ことの表れだと思って、この漢字を選びました。仕事をしている時間は人生の多くを占めます。端から見て楽しそうな様子はその充実を表していますので、いくつかの漢字を思い浮かべた中から挙げてみました。

岡西 充実と楽しさという点は、非常に共感します。一方で、好きなことを仕事にしていっても、楽しむことが難しいときもたまにあるのですが。

宮地 もちろん仕事ではいろいろなことがあります。それでも楽しくなると思い続けていることが大事ではないかと思えます。悲観的になりがちな人もいますが、そこから良いアイデアは生まれないのではないのでしょうか。何か困難なことがあったときは、そこからどうやったら抜け出せるかと考える。ポジティブに考えて全力で取り組む先に、結果がついてくると捉えています。

岡西 まさにそうですね。

宮地 経営者の言動は非常に周りから見られていますし、職場の風土にも影響します。だからこそ、経営者がどんな局面においても明るい雰囲気を保つことも重要だと感じます。

岡西 体の中の細胞も自身の意識で変わると聞いたことがあります。経営者の姿勢と会社の雰囲気の関係性もそのように感じました。「人財」への思いも強くお持ちですね。

宮地 「人」が全てだと思っています。製造業というのは機械でものを造っているわけですが、当然ながら開発から製造、販売まで決めているのは全て人。経営者としては「人財」を第一に考えるべきだと思っています。

岡西 心に「楽しい」が表れることを考えると、「人」と「楽」とは非常に近い関係かもしれません。

宮地 そう思います。「心の持ちよう」と言いますが、どう心を持つかということ、「楽しく仕事をしよう」というところに立ち戻ります。書いていただいた文字の躍動感は、非常にそれを表していると感じました。

岡西 文字の跳ねるところは意識しましたので、共感をいただけたのは非常にうれしいです。ちなみにオフのときの楽しみはどのような過ごし方をなさられていますか。

宮地 仕事が忙しいからといって休日動かないと、それもリフレッシュしないですね。オフのときは仕事を忘れて思い切って体を動かすこと、外に出て新しい刺激に触れることが次のオンに向けた活力になると思っています。

岡西 最後に、経済懇談会の世話人をされているとのことですが、今後はどのような活動を進めていかれますか。

宮地 自分たちの課題をオフレコで話し合える場ですので、非常に有意義に楽しく取り組んでいます。異業種の組み合わせで学びも多いですし、皆さんが柔軟にかかわりながら有効活用できるように進めていきたいと思っています。



書家
岡西 佑奈

1985年3月生まれ。23歳で書家として活動を始め、国内外受賞歴多数。